

おによめ

(ハルハル)

私おによめですと自己紹介した人 やさし

そう存顔色 比白かられた部分を持つているよ

のた、 それに自己分析が出来るいろかうそ

おによめと言ったのがおもしろい

二人の人に会う途おによめという言葉を知ら

なかつたし探つたよと合意

昔嫁いじめの活はさくまいたが世の中変る

とおによめはなるかと申す

自分でおによめと言ふのはそれに似てい

のかもしぬない 嫁の事をさかしたる

我が嫁の嫁さん 嫁やさしい人よと言つた

そと言われまして 本堂で手い嫁

でいふのであろうか

昨日の朝のこゝ 作つてくれた料理一口を

べつかういふと思つた言つてしよつ 天弘におに

よめは言つたからいのが 大すき 白尾とるり

ぬと声を石つて笑つた 次う一回は正御前が

なりのので口にはほこぶとこぬは 堀からい 新堀

は 千代子の かのりのあひと 三ヤモ 花中びある 食へるを



物を食べたの石

「ハイ、これ歯洗いのますよ」  
「入れ歯洗いのますよ」

つよい調子におろして来た。おろして、入れ歯を

はずして、ジュゴでふりて入れ歯の容器へ入れた

歯を洗うと言った。よしよし。ハイ、すずきさん

おはあやさん。てー、あ、あ、すずきに言うとはぶり

にし、ずいとは喉が空っぽらしい

そーして、次、つよい事、言うの石。奇に作るこ

とが、あう、たう、言う、て、下、さ、い、張、付、そ、う、い、う、位

場で、た、い、と、言、つ、た、う、急、に、態、度、を、お、え、そ、ば、は、お

何故かわからなかったか

